

園だより 4月

あなたがたは 神に愛されている子どもです。

エフェソの信徒への手紙 5章 1節

ご入園・ご進級おめでとうございます。

花冷えが続いた4月の初め。それでも桜の花は満開を迎え、幼稚園前歩道の土の中からは土筆が顔を出し、ここ数日の暖かさにすくすくと伸びています。良い備えをされた環境での子どもたちの成長を感じさせるような土筆の様子に、新年度の準備をしながら、神様の祝福を受け「いのち」を輝かせている子どもたちと会う日がより楽しみになりました。

まだ、感染症の状況はあまり良いとは言えない日々が続いています。今年度も「with コロナ」の1年間になることでしょう。一昨年度、昨年度とコロナ禍の2年間を過ごす中、コロナ禍であっても当然のことですが留まることなく成長する子どもたちの「今」をなによりも大切に思い、幼稚園での育みがより豊かな成長へと繋がるように環境を整え、保育者自身も人的環境として子どもたちと真摯に向き合い保育を行って参りました。それと共に、コロナ禍故に与えられた、保育の一つひとつを見直す機会を大切に捉え、より豊かな保育の展開のために教職員一同で想いを注ぎ実践してこることも出来ました。その2年間の経験に基づき、今年度も今年度らしい「生きる力を育む幼稚園の日々」を展開して参りたいと願います。

始まる幼稚園での「遊びの生活」。子どもたちは様々に思い廻らすことで心を動かし、体験によって体を動かし、すべての経験を通して学びの生活を送ります。保育者たちはそれぞれの子どもたちに寄り添い見守り、想いを認め共感し、共に過ごして参ります。そこには、江東YMCA幼稚園の想いをご理解くださり共感し、ご協力を惜しまない保護者の皆様のお支えが必ず必要です。コロナ禍の対応をしっかりとしながら、「with コロナ」の工夫を怠らず、子どもたちの「いのちの輝き」のために、保護者の皆さま、共に宜しくお願い申し上げます。

神様のゆるぎない御手に支えられつつ...

園長 駿河 幸子